本紙主催

建築現場寺子屋塾

町づくりの熱い思い語る

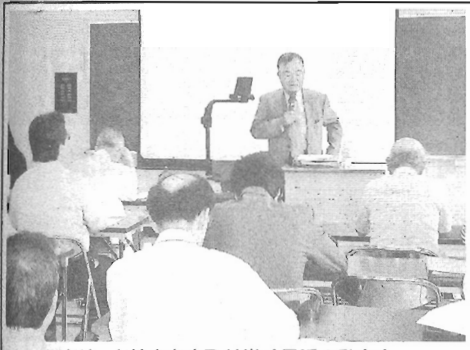
酒屋跡地（隼人町）を地域振興に

㈱鹿児島建設新聞は13日、姶良郡隼人町真孝「浜之市・ふれあいセンター整備事業」の現地で津田和操隼人町長を囲んで「第3回建築現場寺子屋塾」を開き、同町関係課職員はじめ県や民間の設計、建築技術者ら46人が参加した。

場所は老舗の造り酒屋「富之露」跡地。町長が平成9年、商工会長の時から同跡地を地域振興の拠点にと構想していたこともあって、石倉や古民家再生を核にした事業創出の経緯や町づくりの思いなどを熱く語り、席上、事業実施に奔走した林兼行企画課長、岡元邦昭都市計画課長、浜崎芳裕同係長はじめ、設計、施工者らを労った。

同塾では㈱衛藤中山設計の中尾孝樹氏、移転設計を担当した中村建築設計事務所の中村紀幸氏が設計コメント。古材の各種試験を行った県工業技術センター木材工業部、森園眞子研究員が試験結果を報告。現場からは建築本体施工の㈱佐々木組現場代理人、道辻拓朗氏、㈱衛藤中山設計の中尾孝樹氏、移転設計を担当した中村建築設計事務所の中村紀幸氏が設計コメント。古材の各種試験を行った県工業技術センター木材工業部、森園眞子研究員が試験結果を報告。現場からは建築本体施工の㈱佐々木組現場代理人、道辻拓朗氏、㈱大城の大城孝一専務からそれぞれ現場の苦労話しを報告した。最後に県建築移転工事を担当した加治木土木事務所の松元勝郎建築課長の講評があった。

建築技術者ら46人が参加して開かれた寺子屋塾
＝隼人町の浜之市ふれあいセンター整備事業現地で



コンクリート技術者を取り巻く最近の動向をテーマに開かれた研修会＝鹿児島市の県青少年会館で

県技術士会CPD研修会

コンクリート落下事故の本質とは

県技術士会（稲田博会長）は14日、鹿児島市の県青少年会館で第9回CPD（継続教育）研修会を開き、会員23人が受講した。講師は同会員の中原康氏。演題は「コンクリート技術者を取り巻く環境・技術の動向」。同氏は、鹿島建設㈱技術研究所副所長を経て現在、九州テクノリサーチ㈱社長。工学博士、コンクリート診断士、土木学会フェロー特別上級技術者等の資格をもつ。

「トンネルや高架橋でのコンクリート片落下などの本当の原因は何なのか、私見を交えてお話したい」と前置きし、温度ひび割れや維持管理の重要性について説明した後、JR東日本がまとめた最新の調査結果（石橋忠良他『高架橋からのコンクリート片剥落に関する調査研究』2002－8土木学会論文集収録）を紹介。

経年15～80年の高架橋で、1965年以降に建設されたものは、中性化速度係数はそれ以前と比較して大幅に大きい場合が多く、推定水セメント比も設計値55％より大きくなっている。剥落個所では、鉄筋かぶり量20㎜以下、中性化残り10㎜以下で多く発生しているなど、興味深い結果が報告されている。東日本と西日本の資料を見比べるとくるのではないか、などと話した。

プレーを前に写真に納まる参加者
＝大隅町の大隅カントリークラブで

鹿屋電友会ゴルフコンペ

宇都さんが見事優勝

鹿屋電友会（会長・上島征行九電㈱鹿屋営業所長）は14日、曽於郡大崎町の大隅カントリークラブで第117回コンペを開き、18人が参加して熱戦を展開した結果、宇都健三郎さん（有宇都電設）が見事優勝した。九州電力をはじめ電気工事業、電材屋などで構成される同会は20年を迎え、年に6回催されるコンペを通して情報交換を行い親睦を高めている。

コンペ実行委員の中野正稔さん（有昭和電気商会）と六野秀幸さん（有大野建設工業）が競技上の説明をした後、田平一則さん（有田平電機）が挨拶し5組に分かれスタート。絶好の気象条件のなか優勝を胸に秘めてそれぞれ孤軍奮闘。ハーフ終了後の昼食時間はお互いのスコア確認で盛り上がり終始和やかな雰囲気。

ナイスショットやミラクルショット・珍プレーの結果、アウト39イン47で回った宇都健三郎さんが優勝した。宇都さんは「アウトはまぐれです。インが実力、でも優勝は良いものです」と話した。

主な成績は次の通り。

優勝＝宇都健三郎▽準優勝＝脇田喬（九電㈱給務課長）▽3位＝羽生紀郎（㈱鹿榮電設）

国交省

長寿命木造住宅整備指針策定

風土と調和した工法等

国土交通省はこのほど、耐用年数の異なる部品・部材同士の独立・分離や、部材寸法・企画の統一といった木造住宅の物理的・社会的な耐久性向上のための配慮事項をまとめた「長寿命木造住宅整備指針」を策定した。各地方整備局長や都道府県知事、公庫、公団などの関係団体・機関の長に通知し、国民への周知を依頼している。

一般的な人工林の再生サイクル以上に使い続けられる長寿命木造住宅の整備方策を、坂本功東大教授を委員長とする委員会で昨年4月から検討。その成果をまとめたもの。

長寿命化のためには、①地域の風土と調和した工法の採用や長期間にわたって住宅が機能するための居住面積・居住性能の確保②木材の腐食や蟻害、錆、基礎コンクリートの中性化などを軽減するための材料の選択、湿気処理、工法上の工夫③維持保全・部品の更新を容易化するため、耐用年数の異なる部品・部材同士の独立・分離、部材寸法・企画の統一、適切な修繕・保守点検計画の策定、維持管理に必要な情報の保存④大規模改修することなく、部屋の使用形態・間取りを容易に変更できるインフィルシステムの採用―が必要だと提案。

このほかに、住まい手の意識啓発や廃棄物の削減、資源の有効活用に務める必要性も記載している。

太耀産業の「モラサンS」

高性能の下葺き材

太耀産業㈱（本社・岡山県岡山市）は、優れた釘穴シール性で漏水をストップする七王工業㈱（本社・香川県）の高性能下葺き材「モラサンS」＝写真＝の販売を開始した。

屋根の防水には、屋根材と下葺き材の併用による防水対策が必要不可欠。また、「住宅品質確保促進法」に雨漏りに対する瑕疵担保10年が盛り込まれていることから、下葺き材の重要度はますます高まっている。

同社の「モラサン&ベスター」は時代が求める屋根下葺き材として数多くの支持を集めており、今回の「モラサンS」はその性能をさらにグレードアップさせたもの。長期耐久性・防水性・寸法安定性など、ラグ質（紙質）ルーフィングとは比較にならない高い性能を実現したゴム改質アスファルトルーフィング。

強じん性・寸法安定性に優れたポリエステル不燃布を基材に、長時間弾力性を失わない高品質のアスファルトを多量に使用、抜群の釘穴シール性を保持。縦・横各方向の引っ張り強度、伸長度、引裂強度など、十分に耐えられる頑丈な強度性を持ち、長期耐久性はもちろんのこと、多少荒っぽい施工や突風、強風にあおられても破れない。

また、安定した体感温性で、屋根材の汚染トラブル、冬季の折り曲げ破断などとも無縁。さらに、表面に特殊合成樹脂をコーティングしており、滑りにくく屋場のベタツキによる施工難も解消している。

問い合わせ先は、太耀産業㈱九州営業所（福岡市博多区博多駅中央街5－11、第13泰平ビル☎092・452・8851 FAX452・8853）。

安心システムで21世紀の響生を追求する
㈱南栄技研
鹿児島営業所　鹿児島市中山町1496－1　☎(099)260-3100
国分営業所　姶良郡隼人町西光寺町田118-10　☎(0995)43-2972
川内営業所　川内市高城町1688　☎(0996)27-1995
鹿屋営業所　鹿屋市東原3172－6　☎(0994)40-9360
都城営業所　東諸県郡高岡町大字花瀬字樋山7020-46　☎(0986)38-6120
宮崎営業所　宮崎市高千穂通1－3－5　☎(0985)30-9680
八代営業所　八代市上片町1－3－5　☎(0965)35-4878
延岡営業所　東臼杵郡門川町大字加草字深瀬816-1　☎(0982)63-5458
熊本営業所　熊本都城木町亀甲字西池上2074　☎(096)273-3666

24時間
迅速な作業と適正価格でまごころサービス
エレベータ・エスカレーター
立体駐車場全般
保守点検専門
㈱日本エレベータ
本社　鹿児島市下荒田1-20-6　TEL(099)257-9113　FAX(099)251-9418
営業所　鹿児島・熊本・大分・福岡・広島